

広報広聴委員会 会議概要

日 時	令和6年2月9日（金） 10：00～11：10
出席者	<input checked="" type="checkbox"/> 棚原明委員長 <input checked="" type="checkbox"/> 座間味万佳副委員長 <input checked="" type="checkbox"/> 嶺井拓磨委員 <input checked="" type="checkbox"/> 下地崇委員 <input checked="" type="checkbox"/> プリティ宮城ちえ委員 <input checked="" type="checkbox"/> 山城康弘委員 <input checked="" type="checkbox"/> 伊佐哲雄委員 <input checked="" type="checkbox"/> 屋良千枝美委員 <input checked="" type="checkbox"/> 石川慶委員
協議事項	1. 議会報告及び市民との意見交換会の開催について 2. 議会だよりのリニューアル（案）について
配付資料	【資料1】 開催方法（案）について 【資料2】 議会だよりレイアウト案について
会議概要	<p>1. 議会報告及び市民との意見交換会の開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正副委員長及び検討委員にて取りまとめた開催方法の方向性2案【資料1】が説明され協議の上、各党派へ持ち帰り検討することとなった。（2月16日集約） ・案は、従来の「スクール形式」及び新たな試みの「グループ形式」の2案。 <p>（主な意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでと違う方法で実施し、どちらがより意見を聞き取りやすいか検証してみてもよいのではないか。 ・全国的にグループ形式で行っているところも多い、市民に身近な方法でやってみるのもよいのではないか。1年交替など、やり方はいろいろ。 ・どちらの案になっても、決定した案（方向性）については、今後、全会派協力して進める方向としたい。 ・1部はこれまで通りとし、2部、3部の方法を行うことで、従来（スクール形式）の良さと、グループ形式の良さが両方取り入れられる。参加した多くの市民が意見を言える。 ・グループ内での議員の姿勢（対応）は検討を要す。 <p>⇒「議会」としての意見交換会であるため、議員個人としての発言等の在り方等。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間をこれまでの90分から120分延長にすべきか。（会場も確認要す） ・経済建設分野の意見が多いことについては、分析を行い対応した方がよい。 ・情報量が少ない意見に対し、内容がつかめないまま議論している課題については、連絡先の記載依頼の方法を検討。DV被害者等への配慮も必要。 ・実行するにあたっての準備等は、事務局へ移行した作業を見直す。 <p>2. 議会だよりのリニューアル（案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正副委員長及び検討委員にて取りまとめたレイアウト案【資料2】が説明され協議の上、案のとおり進めることに決定し代表者会議にて周知することとした。 ・キャッチコピー、カテゴリの選定は、だより検討委員に任せる。

- ・今後の発刊編集作業において、表紙写真の選定は広報広聴委員会にて行う。
(委員選抜かどうかは今後)
- ・細かなデザインやその他の記事は、事務局へ任せる。
- ・意見のあった事項は、今後検討する。

(主な意見)

- ・一般質問記事の「その他の主な質問」を4行と固定せず柔軟にした方がよいか。
- ・各議員の記事ごとにQRコードは必要か。
- ・委員の賛否の表記（理由等）